

# 森町立飯田小学校 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年7月7日(木)

**学習の直後であったため、体験を伴った理解につながりました。**

森町立飯田小学校の6年生30人が、社会科の授業で、昔の人の暮らしについて体験的に学ぶと共に、歴史学習への興味を高めることを目的に、井谷先生が計画して、土器の分類、石器の試し切りの体験をしました。

## 土器の分類体験



本物の土器に触れる機会はめったにないですね。



けっこう苦心しています。



本物の縄文土器・弥生土器・須恵器の完形品を手にとって、それぞれの特徴を体感しました。それぞれの違いは作り方や焼き方が異なるからということを知り、その後に土器片の分類作業を体験しました。縄文土器片は厚くてザラザラして分かり易かったけど、弥生土器片と須恵器片は似たような色の土器片があって分類に苦心しましたね。でも最後にはきちんと分類ができました。



何とか正解できましたね。

## 石器試し切り体験



石器についての説明を聞いた後、産地が限られた貴重な黒曜石が使われていたことを知り、持参した野菜くずを試し切りしました。黒曜石の切れ味のすごさに驚いていました。

黒曜石でないとなかなか物は切れません。だから遠くまで採りに行ったんですね。

### 井谷先生の感想

学習の直後であったため、体験を伴った理解につながりました。社会科の授業では伝えきれない細かい解説をしていただき、子供たちは興味をもって聞いていました。実物を目の前にし、実際に触れた時「本当に～なんだ、本当に～になっているんだ」と、学んだことを確かめる姿が見られました。

